

被服製作に興味を持たせる授業の一試案

——オープンキャンパスでの模擬授業を通して——

今井 裕子・田中 美貴

A Plan of Class Contents for Interest in Clothing Making

—— Hints from What Conducted a Demonstration Class ——

Yuko IMAI and Miki TANAKA

Key words : 模擬授業 a demonstration class, オープンキャンパス the open campus, 被服製作 clothing making

1. はじめに

ファッションにおいて、既報¹⁾にも記したように「第一の皮膚」といわれるビューティー（美容）領域への関心は、現代では「第二の皮膚」といわれるアパレル領域への関心に劣らぬ高まりを示すようになっている。コミュニティ生活学科では、平成14年より、ファッション文化・ファッションビジネス・アパレル製作など、狭義のファッション領域だけでなく、メイクやネイルなど美容領域の授業を導入してきた。さらに平成21年度からは、メイクの授業を増設し、トータルなファッション教育の一層の充実を図ってきた。

この結果、美容領域が本学科で学べるという認識は高校生に広まり、メイクやネイルの授業に興味を持つ学生が多く入学するようになった。このため、従来の被服製作に興味を示す学生の割合が減少し、アパレル製作論、アパレル製作演習、アパレル製作実習など、被服製作に関する授業への興味・意欲が著しく低下するようになった。

また、既報²⁾で報告しているように、小学校・中学校・高校において布を使った作品製作についての質問項目で、体にまとう被服（エプロン、パンツ類、スカート、ドレス、ちゃんちゃんこ、ベスト）を製作した学生の割合は、平成20年度95.7%、21年度94.1%、22年度81.8%と年を追うごとに減少している。それに対し雑貨製作者の割合は、平成20年度4.3%であったのが21年度5.9%、22年度18.2%と年々増加している。このような数字からも、小学校・中学校・高校での家庭科教育で、被服製作への興味・意欲を喚起する機会が減少していることがわ

かる。

このような現状で、美容やコーディネートを志向する学生に被服への興味を持たせられるかがポイントになってきた。トータルなファッション知識を習得するためには、美容領域のみでなく、アパレル領域の知識も不可欠である。被服を知るためには、実際に製作してみることが有効で、デザインとシルエット、布地の関係を考えたり、服の構成を製作することで理解したり、必要な知識が体験的に理解できるようになる。

そこで、被服製作や被服デザインにどうすれば興味を持たせることができるか、その導入となるデモンストレーションについて、検討する必要性を感じるようになった。ほとんど被服製作に興味を持ったことがない学生を対象に、という前提を考える時、コミュニティ生活学科のオープンキャンパスに参加する高校生がこの条件に合致しており、オープンキャンパスでのデモンストレーション（模擬授業）を通して、その展開の仕方や方法を検討することにした。

このデモンストレーション（模擬授業）に対する高校生の反応により、本学1年生にも同様の効果あるのではないかと考え、「アパレル製作論」の授業第1講目への導入を検討し、試案を提案することとした。

2. 高校生にアパレル製作に興味をもたせる模擬授業内容の検討

2-1 模擬授業実施時期

コミュニティ生活学科のオープンキャンパスでは、高校生にファッションやフードを中心とした様々な実演や体験の場を提供し、多彩な魅力を理解してもらえよう

に計画している。ファッション分野ではファッションデザイン体験やパーソナルカラー・ブライダル・メイクの実演を計画し、5回あるオープンキャンパスのうち、第1回5月29日（日）と第2回6月19日（日）において、ファッションデザイン体験の時間に、模擬授業を実施した。

2-2 模擬授業形式

模擬授業は、高校生の素朴な疑問を代弁する役とそれにこたえる役とで講師二人体制を検討した。

また、講師2名はそれぞれの専門分野を説明する役割も務めており、話がファッションデザイン関係の場合は田中が主（指導者）で今井が副（指導者）となり、聞き手や質問役となる。アパレル製作関係の場合は今井が主となり田中が副となる。このように、互いに補完しあい、専門的な内容をわかりやすく、問答する工夫をした。

主指導者の説明中は、副は必要な教材（デザイン画、布地サンプル等）を横で示すなど、助手としての役割も果たすようにした。また、技術を見せる場面では（ピン打ち、いせ込み等）、技術の習得への憧れを感じてもらうことをねらいとした。服装は白衣とし、パリ・オートク

チュールのアトリエを模した。集中して作業を行う場面では、効果的なアップテンポの曲をBGMとした。

2-3 模擬授業内容

オープンキャンパスでのファッションデザイン体験予定時間30分の模擬授業内容を次のように計画した。

テーマ「ファッションデザインを楽しもうⅠ・Ⅱ」

- (1) 目的について（2分）
- (2) 基本シルエットの型紙とフィッティング（10分）
- (3) 応用シルエットの型紙とフィッティング（10分）
- (4) 布について（6分）
- (5) まとめ（2分）

3. 模擬授業の実施結果と考察

3-1 模擬授業結果

第1回「ファッションデザインを楽しもうⅠ」の進行を表1に、第2回「ファッションデザインを楽しもうⅡ」の進行を表2に示した。

表中の文章は、内容が変わらない程度、話し言葉の修正をおこなった。

表1 第1回オープンキャンパス ファッションデザインを楽しもうⅠ

	田中	今井
目的について	<p>○それでは始めたいと思います。田中といいます。</p> <p>○よろしく願いいたします。</p> <p>○今日は、デザインと型紙の関係とかをやっていると思うのですが。みなさん、この絵が見えますか。（高校生に左から右にゆっくりとデザイン画を示して）</p>	<p>○今井といいます。</p> <p>○よろしく願いいたします。</p>
基本シルエットの型紙とフィッティングについて	<p>○先生、このデザインで型紙っていったいどんな風になるのか初めにやりたいのですね。</p> <p>○いいのがありますか。</p> <p>○それって半分じゃないのですか。</p> <p>○（半分で）いいですか。（確認するように）それでいいですか。（デザイン画を見せながら）お服は（左右）両方にありますよ。</p> <p>○はい。（デザイン画の胴周りを指しながら）それがこの（デザインの）体の胴の部分なんですね。</p> <p>○これをひよっとしたら身頃と言うのを知っていますか。（デザイン画に胴部分を指しながら）身頃、身頃</p> <p>○では、身頃を（ホワイトボードに）貼らせていただきますよ。（右身頃の型紙を受け取りマグネットでホワイトボードに貼った）次は今度はスカート。先生、これもまた半分ですか。</p> <p>○どう、半分になるのですか。</p> <p>○これがスカート（の型紙）ですね。（スカートの型紙を受け取り、ホワイトボードの身頃の型紙の下方に貼りながら）ということは、これが上のほうで、ここにスカート（の型紙）が来ますね。ここが真っ直ぐになるのですね。</p> <p>○それで、残りが。（基本のデザイン画を示して）</p> <p>○これはどこになるんですか。</p> <p>○では、このまま貼ればいいですね。（後ろ身頃をホワイトボードの左側に貼った）スカートの後ろが。</p> <p>○はい、ということは、こうですね。（後ろスカートの型紙を受け取り、ホワイトボードの後ろ身頃の下に貼る）残りのお袖、（デザイン画の袖部分を示しながら）半袖ですけども。</p>	<p>○そうですね、はい、いいのがあります。（前身頃の型紙1枚を提示して）</p> <p>○型紙でしたら、こういった前の型紙になりますね。</p> <p>○ええ、（右身頃の型紙中の記号を指しながら）半分ですよ。</p> <p>○それがここに記号があるのですが、みなさん、体は左右対称ですからこちら（右身頃の型紙）を作ればこちら（左身頃の型紙）もできたも同然です。基本的には片方（の型紙）だけでいいです。</p> <p>○そうですね</p> <p>○はい、そうですね、身頃と言います。</p> <p>○はい、（右スカートの型紙を提示して）同じく半分です。</p> <p>○こういう風になります。（ボディの中心から右腰部分に右スカートの型紙を当て、次に型紙を反転させ人台の左腰部分に当てて）</p> <p>○はい、そうですね。（身頃とスカートの型紙の中心線は）つながっています。</p> <p>○前（の型紙）ができましたから、（ボディを反転させ、ボディの背中を見せ）今度は、後ろ（の型紙）ということになりますね。後ろは、同じことで、こういった型紙になります。（後ろの右身頃型紙を持ち）</p> <p>○この場所ですね。（後身頃の型紙をボディの背中に当てながら）</p> <p>○スカートも同じことで真中がこうになります。（後ろスカートの型紙をボディの右腰に当て、次いで型紙を反転させボディの左腰に当てた）</p>

<p>○（袖の型紙を示して）なんか面白い格好ですね。 これって前後、と書いてありますが、こちらが前ですか。</p> <p>○袖も貼っておきます。（袖の型紙をホワイトボードへ貼った） でも、この型紙で紙なのにいきなり服にはならないのですけど。 ○私はこの布で服を作るつもりはないんですよ。（試作の身頃を触りながら）</p> <p>○試す専用の布ですね。</p> <p>○了解です。（デザイン画を机に置いて）さあ、それでは、今から着せつけましょうね。これが身頃と、スカートと、あとお袖は私が担当しますので。 ○（シーチングの袖山辺りを示しながら）お袖は肩の丸みに添わせるために、ちくちく糸で縫うという作業があります。それを私が担当します。 では、（音楽担当の）先生（音楽を）お願いします。 ○今やっているのがぐし縫いですね。（ぐし縫いの実演をしながら）運針です。 （実演）</p> <p>○（アイロンでぐし縫いを落ち着かせながら）袖のいせこみ完了 （引き続き、袖底を縫い、袖を筒にし、袖を左袖、右袖の順にを今井に手渡した） ○（袖つけの）今のポイントは、下からですか。 （右袖が正面に来るようにボディを回転させた）</p> <p>○できましたね。（基本ワンピースのデザイン画を持ち示しながら）基本形の半袖のローウェスト、低い位置のウエストのワンピースのできあがりです。</p>	<p>○袖はですね、（袖の型紙を示して）これで（袖の型紙を袖のできあがりのように筒にし、人台の右腕部分に当てながら）こういう形になります。同じ理由で左右（の型紙）は要りません。（袖の型紙は）この1枚です。 ○そうですね、（前と書いてある袖は）前身頃（側）につきます。</p> <p>○布が要りますね。布がいるんですけど、試しに作ってみました。（試作した身頃を取り出た） ○そうですね。この布はシーチングといって、自分の体に合うのかどうかの全体のバランスを見た時に、本当にこのラインでよいのか、この型紙でいいのかどうかをみるのに、試してみるものです。 ○そうですね。</p> <p>○よろしく願いいたします。私は、ボディに着せつけていきます。（シーチングの身頃とスカートをボディに着せつけた） ○しゃがむのがしんどい人は、このようにペダルでですね、ボディを上げることができます。 （足元のペダルを踏みボディを高くした） （実演）</p> <p>○袖はどうでしょうか。（全体が見えるよう、着せつけたボディをひと回りさせた） ○今度は袖を付けますので、（ボディを）低くします。 （袖を左身頃、右身頃の順につけた） ○そうですね、袖は筒になっていますけれども、（袖の）上を付けると下が見えませんが、まず、袖の下から待ち針で付けていきます。いせこみをしていますから、ふんわかと上につける袖の形になります。どうですか、みなさん、なっていますね。それから山を付けます。そこでごてごてしないですっきりと、手数を少なくさっさとやるとこちらの方のシルエットができます。前（の袖付け）ができました。次は後ろ（の袖付け）ですね。</p>
<p>○この型紙を使って、いろんなデザインができていきます。じゃあ、先生、次。</p> <p>○これ（フレアワンピースのデザイン画を示した）</p> <p>○そうです。今度は、お袖がひらひらしているのですけども、こういったフレア。お袖、スカートもひらひらになっているのね。この型紙にこれを作り変えてみたいと思うのですけども。</p> <p>○先生、一か所しか切らないんですか。</p> <p>○（そで口を広げた型紙を見せながら）こんなに切っていいんですか。</p> <p>○そうですか。それで、今度スカートも （切り開き展開した袖の型紙をホワイトボードに貼った）</p> <p>○どちらが（前スカートの）中心でしょうか。 （裾を広げた前スカートの型紙をホワイトボードに貼った） ○（着装したシーチングのワンピースから）お袖とスカートのところだけを変えますのでね。では（音楽を）お願いします。 ○私のすることありますか。</p> <p>○袖ですね。 （フレアの入ったシーチングの袖の山にぐし縫いをした） （左袖を身頃の袖ぐりにつけ、ボディの後ろを整えた） ○はい、フレアが入ったと思います。だから、同じ型紙だったのに、ちょっとハサミを入れて（型紙を）広げるだけでデザインが変えられることは、みなさん、わかってもらえましたか。もっと広げることもできるし、ほんのちょっとだけ広げることもできるんですよ。デザイン画ですけれども、もっとVにこう（手で自分の首回りをVの字に描く）くれたような感じで ○気持ち（ネックラインは）ハートのようにふくらんでいるように。</p> <p>○いいじゃないですか。気持ちカーブになっていて真っ直ぐじゃないんですよ。</p> <p>○それであとは縫い代を全部1センチに切り落として、これを作っていけばいい。ですから土台を作っておいて、シーチングでもう少し、ウエストの位置を上げようとか、袖を短くしようとか考えることができます。</p>	<p>○はい、なんでしょう。</p> <p>○ちょっと待ってください。袖（のデザイン）が違うじゃございませんか。 ○そうですね。じゃあまず、パッと目についた袖のほうを（作ってみましょう）、この基本形（の型紙）が筒になっているのが（着装させた）お袖ですけれども、これをひらひらにしようかなと思ったら、簡単なんです。ひらひらにするためにはここをジョキジョキと（基本の型紙をハサミで袖山線を袖口から袖山に向けカットしながら）こういう風に（カット）してここ（そで口）を広げれば、空間が広がります。 ○実はこういう風に切って（袖口を広げて）みました。（数か所カットし、台紙に袖口を広げ貼りつけた型紙を持ち出し田中に渡す） ○だって、デザイン画を見るとこのくらい切らないと、ちょっと難しいんじゃないかなと思っています。 ○スカートもですね、同じように基本形がありまして（前スカートの基本の型紙を示し、縦に切る場所を数か所手で示しながら）ザクザクと真っ直ぐ切っていきます。スカートもこのくらい広げてみましたけど、どうでしょう。 ○こちらが中心です。（ホワイトボードに貼る型紙中心を指示して）（裾を広げた後ろスカートの型紙をホワイトボードに貼った） ○袖を取りますからボディを低くします。</p> <p>○これをお願いします。 （基本形の袖をはずし、フレアの入った右袖を身頃につけた） （基本のスカートを身頃からはずし、ボディを上げ、フレアスカート前身頃の中心から付けた） （ボディを回し、袖とスカートにフレアを見せた） ○そうですね。それは準備していないので、今から絵を見ながらこういったテープでね、貼ってみましょう。接着剤が薄く付いていますからいろいろできます。（フレアワンピースのデザイン画を見て）すぐく開いていますね。</p> <p>○半分できましたので、見てください。こんな感じで</p> <p>○前（のネックライン）はこれでいいということで。テープで自然に後ろにつなげていきます。これは、ボディに着ていますから、（ネックラインは）自分で製図しなくて、この（シーチングの）上からテープを貼って行って、自然なつながりで最初のテープにつながれば、もうこれでOKですね。 （衿ぐりなどの縫い代を内側に入れた）</p>
<p>○今のこのデザイン（フレアワンピースのデザイン画）ですけれども、（フリル</p>	

<p>布に つ い て</p>	<p>ワンピースのデザイン画を見せ) 布を変えてこんな風な。布屋さんに行ったらピンクの布を置いてまして、(左手にフリルワンピースのデザイン画を持ち、右手でピンクの布を見せながら) これはみなさんくらいの年齢の子に可愛いのではないかなと思い、買ってみたんですけども。デザインはさっきのグリーンの(フレアデザイン)と一緒になんですけども、フリルをたくさん挟んでみました。首回りですとかアンダーバストの位置に切り替えを入れてそこにも挟んでみました。裾にもフリルが入っていますね。物足りなかったらもっといっぱい付けてもいいですよ。こんな風に布によってデザインが違います。この布だったら、フリルを入れてみようかな、とかいう風に。</p> <p>最初の基本形のデザインですが、この時は基本なのでいろんな操作ができなかったんですけど、たとえば、こういった風に(モノトーンワンピースのデザイン画を示し)モノトーンにしておいて中心部分だけが白、サイドを黒にすることで、シェイプされます。描いているうちにこのモデルの顔が可愛いので、もっと遊んでみたい気分になって、袖口のところにギャザーを寄せて、ここのところを細める。ちょうちん袖というのですか、みなさんとでしたら。透け素材、透けた素材でやってみて腕の線を見せるのも面白いかな。それを描いていくうちにスカートのほうもオーバースカートにして、二枚重ねにして透けた素材の面白さを出してみようかしら、とかいう風にデザインが膨らんでいくわけです。</p> <p>それとか、(国旗デザインワンピースのデザイン画) こちらはかわいらしい雰囲気なので、もう少しボーイッシュな感じをと思って、ユニオンジャックデザインですね。そのイギリスの国旗の布と赤い無地の布を組み合わせで、デザインを考えることができます。みなさん向けに描くのであれば、もう少し丈を少し短くしてもよかったかな、スパッツを重ねてレギンスをはかせてみました。(ピンクの布を広げ) こんな風に布を見てデザインが生まれる。それから(フリルワンピースのデザイン画を持つ) デザインが頭にあって、こういう布を探しに行くっていうこともあります。</p> <p>それから、今回のデザインに向いている布としては、ある程度張りがあったほうがいいですね。厚みがあったほうが、しっかりしたほうがいいですね。(布を広げて) このような迷彩(柄)の布でもおもしろいですよ。最初のデザインのほうですね。黄色い(基本デザインの) ほうですよ。これを迷彩柄で作って、ローウエストの位置にベルトをすとかね。それから、布屋さんに行ったらあまりのかわいさに買ってしまったんですけども、かわいくない。かわいいね。みんなだったら、どんなデザインにする。きっといろんな(デザイン) が浮かぶでしょう。このやり方だったら。おもしろいですよ。こちら(基本ワンピース) のデザインでもいいし、案外、もう片方の女らしい(フリルワンピースの) デザインで作っても面白い。それから、ドット柄、ドットといえば水玉のことね。ドット(柄の布) がほしかったんですけど、水玉っていうのはあまり安い布を買うとミニちゃんみたいになる。ミニちゃんはかわいすぎてどうってことがあるんですけども。その点このドットはなかなかいいですよ。(赤い水玉の布を広げて) 品がいいですよ。仕立て映えます。</p>	<div data-bbox="933 219 1393 544"> </div> <p>写真1 フレアワンピースのデザイン画と布</p> <div data-bbox="933 600 1393 981"> </div> <p>写真2 モノトーンワンピースデザイン画</p> <p>(ボディにつけたフレアの袖口をぐし縫いした)</p> <p>(ぐし縫いをひきしめてギャザーを寄せ、ちょうちん袖にした)</p>
<p>ま と め</p>	<p>○というふうに、服ってみなさん、買って着ていると思います。私たちもそうなんですけど。自分で作れると、本当にいろいろ夢が広がるし、変えてリメイクなんかもね。というような世界ですよ。楽しいですね。服のデザインから作ってみること。そのような授業もこの学科もありますからね。</p> <p>○かわいいですね。</p> <p>○ということはですよ。裾をもう少し長く作っておいて、裾を絞ったらバルンスカートになる、というふうに夢が、発想が広がるといいます。発想で変えていく気がします。絵が描けなくてもいいんです。</p> <p>はい、それでは実演は以上です。終わります。</p> <p>○ありがとうございました。</p>	<p>○さっきの話でちょっとちょうちん袖にしてみました。</p> <p>○(フレアの袖と) 同じ型紙ですね。</p> <p>○ありがとうございました。</p>

※話言葉は、内容が変わらない程度に修正した。
 布・切れ・布地・生地などの表現は「布」に統一。
 ボディ・人台は「ボディ」に統一。
 ※「○」は発言の順を示し、○の位置が上位が先の発言を表す。
 ※() 中は行動・態度を表す。

表2 第2回オープンキャンパス ファッションデザインを楽しもうⅡ

	田中	今井
目的について	<p>○それでは始めたいと思います。田中といいます。</p> <p>○よろしくお願いいたします。</p> <p>○今日は、いろんなデザインの服を作るために一番知っておいてほしいこと、基本の型紙というものをやっていきます。</p>	<p>○今井といいます。</p> <p>○よろしくお願いいたします。</p>
	<p>○今井先生、今日のデザインは、これです。(左から右にゆっくりと基本ワンピースのデザイン画を示して) こちらを見てください。上半身はほぼ体にぴったりしていて、スカートは基本のパターンです。これ(基本の型紙)を作っておけば、この型紙からいろんなデザインができるということです。先生、上の方(上身頃)の型紙をお願いします。</p> <p>○(デザインでは左右) つながっているのですが、(型紙が) 半分で着れるのですか。</p>	<p>○(上半身の前身頃を持ち) こちらが前の方の身頃という型紙になります。</p> <p>○ええ、(型紙は体の) 半分で、印がポイントです。この印(型</p>


基本シルエットの型紙とフィッティングについて	<p>○ということは、布を半分に折っておいて、型紙（右身頃分）を載せて裁断すればデザインのように左右対称の服になるということですね。</p> <p>○後ろの方は。（ボディの背中を出しながら）</p> <p>○お約束なのね。そうすると、（水色のワンピースのデザイン画を見せながら）スカートの方も同じように、きっと前スカートは左右つながっていますね。</p> <p>○それでは、今の型紙で布を切って立体にしていきたいと思います。</p> <p>○デザイン画のようにシュッと becoming してほしいのに、ほわっと浮いているような。</p> <p>○ためばいいんですか。</p> <p>○ひょっとして、すごく胸のある人（の服に）はダーツはもっとたくさんとか、あまり胸のない人（の服に）はダーツはちょっとしかいらなくとか。そうですね。きっと</p> <p>○自分の基本（の型紙）を持ってくと、どんな服でも自分のサイズでできるということですね。</p> <p>○後ろ（スカート）がなんでばかっとながれていくのかというと、（実演が）やりやすいからということですね。だから、わにせずには開けたほうが。（ボディに着せてある身頃にスカートを待ち針でつけていった）</p> <p>○さあ、一つわかれば、できますよね。好きな形をいろいろな人によってそれぞれ（のデザインができる）でしょうね。</p> <p>○素敵ですね、本当に。シンプルなの。</p> <p>○もしも、これを布の黒で作っておくと、シンプルなドレス、リトルブラックドレスといいます。小さな黒いドレスといい、基本中の基本ですね。リトルブラックドレスを持っていると、何か上に羽織るにしても、中に着てもいいし、これ一つでもいいし、という風に。下にレギンスをはくとかね、重宝しますよ。よろしいですかね。</p> <p>○さあ、（水色のワンピースのデザイン画を見せながら）これで基本のフィッティングが終わりました。</p>	<p>紙の印を指しながら）があると、左右対称に（布を続けて服を）作りましょう、ということになります。これが型紙ですが、実際、（服は）型紙と同じものを作ります。（型紙を自身の体に当てながら）</p> <p>○今の型紙は片方（右見頃）ですが、布は（身頃は左右）つながっています。（ホワイトボードに前身頃の型紙を貼った）</p> <p>○後ろ（身頃の型紙）の方も、これ（右身頃の型紙）だけでいいのですけれど、ポイントはこの（前身頃にはあった）何も（印が）ないですね。ということは、（前身頃と）同じようにこれを2枚重ねた布の上に置きます。それで裁断します。印がないので、（左右の身頃を）バラバラに作りましょう、ということです。（前身頃と）同じように型紙は半分しかないのですけれども、お約束として、1枚の型紙で（左右対称の）2枚の後ろ身頃ができる、ということになります。</p> <p>○これが前スカート（の型紙）です。半分（右身頃分）しかありません。（型紙をボディの前腰部分に当てながら）こちら（右）の型紙がくるとなりスカートが（左右）続きます。</p> <p>後ろスカート（の型紙）には印がありませんので、こちら（左）のスカートとこちら（右）のスカートは別々の布になります。（後ろの身頃の型紙とスカートをホワイトボードに貼った）</p> <p>○こちらが前身頃ですね。わになって（続いて）います。後ろ（身頃）は（続いてなく）切れています。（前身頃と後ろ身頃の）肩を縫い、脇を縫うとこのような状態になります。これ（ピンクッション）をつけないと仕事になりません。（ボディに上身頃をのせて整えた）</p> <p>○そうですね、ほわほわと浮いていますね。そこで、今日のポイント。このダーツという三角形のものです。デザイン画のこの1本線、これが三角形のダーツの変形した線です。今からこれ（身頃の布）をシュッと体に合わせてみましょう。三角形をこのようにたたみますよ。（前身頃のダーツをたたんだ）そうすると、横から見るとウェスト部分のダーツのでっぱりがなくなってきましたね。後ろ（身頃）の方はまだ、バタバタですから、三角形のダーツをこのようにたたんでみましょう。</p> <p>○そうですね。簡単な話ですね。</p> <p>○そうですね。今はこのボディに合わせての分量ですから、すらっとした人とポチャッとした人で、やっぱりダーツの分量は、三角形の大きさが違ってきますね。どうでしょうか。パカパカだったのがシュッとしてきましたね。</p> <p>○ええ、そうですね。</p> <p>○次に、スカート。（前中心で続いている布の前スカートを見せながら）スカートの方も真中（前中心）があって、ダーツがあります。（ボディに着せてある身頃にスカートを待ち針でつけていった）</p> <p>○ここでポイントは、おなかを膨らませたくないですから、（前スカートのダーツは）このような感じで、前（のシルエット）はすっきりと、後ろ（スカート）のダーツは割と多目に（長めに）とっていきます。</p> <p>○そうですね。</p> <p>○こんな感じで、上の身頃と下のスカートのダーツをつなげています。（後ろスカートのシルエットを整えた）</p>
	<p>○これで基本、ベースできたわけですから、ここからいろんなデザインが作れるようになります。今日の1つ目ね。（ギャザーワンピースのデザイン画を見せながら）どこが違いますか。（ボディの胸辺りを指し）まず、こちら辺の布がなくなって肩ひもに変わっていますね。それから、スカートにギャザーがたっぷりで、なんとAKBがはいっているような感じのギャザーになっています。じゃ、これを今から作ってみようじゃありませんか</p> <p>○作るんですよ。胸の水平のラインですけど、まず、先生に入れていただいて、赤でいきますか。</p>	<p>○作るんですか？</p>



写真3 基本シルエットとギャザーワンピースデザイン画

○デザイン線ですから、赤でいきましょう。あまり作業が複雑

応用シルエットの型紙とフィッティングについて	<p>○そのテーブいいですね。</p> <p>○（高校生へ問いかけて）みなさん、いいですか。似ています。OK。このライン。いいですね。さあ、いよいよスカートのほうを（変えていきましょう）。スカートの基本はこうなんだけれど、（新しいデザインは）とてもこんな風にぱっちりじゃないじゃありませんか。前回第1回目（のオープンキャンパス）に来ていた方はありますか。（前回は型紙を）ハサミで切っていましたよね。あれをまた、今日もやります。○いいんですか、切っても</p> <p>○すごく切って開いてありますね。1か所、2か所、3か所、切ってあります。</p> <p>○同じように、に切って開いた、ということですね。はい、それでは今から、そんな風になるかどうかやってみますね。音楽をお願いします。</p> <p>○今の型紙をこんなに布を裁断したのが（シーチングのスカートと展開型紙を比べて）これね。（ウエストの位置にぐし縫いをした）（ぐし縫いを終えたスカートのを身頃ウエスト部分に、ギャザーを寄せとめた）○いかがでしょうか。という風に、これはギャザーというのですが、ギャザーたっぷりのワンピースができました。基本があれば、いろいろできるんだということが分かってもらえたと思います。</p> <p>○同じような考え方で、（ホルターネックワンピースのデザイン画を提示し）肩のところを身頃から全部切ってしまうず、つなげて、ホルターネックというのをみなさん見たことありますか。首の後ろで結びますね。と言う風なデザインにすることができると、スカートをちょっと面倒ですけども、3段重ねでも4段重ねでも作ることができます。それとか、（ハイウエストでの切り替えワンピースのデザイン画を提示し）肩ひもを今、だんだん上になるほど広がっているデザインですけれども（肩ひもが）細いのでシンプルにいくのもいいと思います。それで思い切ってここ（ハイウエストライン）から型紙を切ってしまう。それで、（型紙の）胴の部分をこっち（スカート）へくっつけてしまうんです。そうしてつなげて作れば（切り替えが）ハイウエストのシルエットになります。そんなこともできます。何でもできるということですよ。</p>	<p>にならないように。</p> <p>○（ボディラインは）貼ってはがせるので、間違って（貼って）もベロッととはがせば元通り。このように立体でデザイン線を入れていきますから、製図の紙の上で真っ直ぐのラインを引くのと違って、胸の凹凸の個人差がわかっていくわけですね。こんな感じでいいですか。</p> <p>○はい、（今の）裾がびったりでびちびちですから、（デザイン画のように）裾を広げてふわふわとさせようとしたら、（ハサミでスカートの型紙を切りながら）型紙を切って広げるしかありませんね。</p> <p>○はい、紙ですから、本物の布というか、できあがりのドレスの布を切るというよりは、これ（型紙）を切っちゃって、好きに（型紙を）加工していけばいいんです。こういう風にちょっと（裾を）広げるとこの分量は紙を足していく。こういう形でやったのが、前スカートがこんな感じになりますね。</p> <p>（切り開いた前スカートの型紙を、ホワイトボードに貼った）</p> <p>○（ギャザー分量は）多いですよ。元の形がこれですね。（基本デザインの型紙を展開型紙の近くへ移動）後ろの形も同じように切っていったってこんな風になります。（後ろスカートの展開型紙を前スカートの展開型紙の左に貼り、基本型紙をその下に貼る）</p> <p>○先生、スカートのギャザーをお願いします。</p> <p>○今から、身頃の方のデザイン線に縫い代を付けて切っていきます。ハサミの先を滑らせて切っていきます。（前身頃に続いて後ろ身頃も同様に裁断し、切り終えたら、ヨーク部分をボディから外し、切り込みを入れて）先生、デザイン画を見せてください。</p> <p>（ギャザーのデザイン画を、ホワイトボードに貼った）（右肩ひもに続き、左肩ひもをボディの上で製作した）（肩ひもを終え縫い代を内側に折り込んだ）（スカートを身頃にとめた）</p>
布について	<p>○では先生、肩ひもを細いバージョンにお願いします。</p> <p>○このシンプルなデザインは、布がある程度厚い方が（スカートが）ストンと落ちます。このかわいいネコちゃん（のプリント柄の布）をちょっと触ってみてもらえます。（猫のプリント柄の布を2、3人の高校生に布を触ってもらい）しっかり固い布だと思うんですか。触ってみてください。どう、触ってみて。しっかりしています。こういう布にストンとしたデザインが向いてるんですよ。薄くて軟らかかったらね、（体に）まとわりついて、くっついてね。というふうなデザインです。という風に布とデザインってすごく関係があるんですよ。それで、さっきの水玉の布は薄手でちょうど扱いやすい感じだと思います。（赤い布を自分の肩にかけながら）それから、例えばこういったような布ですけども、薄いけれど意外と張りがあるんです、硬い感じです。だったら、ギャザーをここまで寄せると大きくなりすぎて太って見えるということもあります。（展開分量が少ない前スカートの型紙を示し）そういう時は（型紙の）ギャザー（分量）をあんまり開かなければいいんです。（展開した型紙の）緑のところ（台紙）の（切り開いた）分量が（ホワイトボードに貼った展開型紙に比べて）少ないと思いませんか。という風にギャザーのたっぷり加減も自分で変えられる、ということですね。</p> <p>先生、シュッとしたものになりましたね。</p> <p>○そしたら、（フリルワンピースのデザイン画を提示し）肩のところにフリルを挟み込んで可愛くすることもできます。お花柄でなかなかロマンティックでかわいいでしょ。本当にストッキングでいかにも可愛く着るのも、スタイリングするのでもいいけど、こういった（デザイン画の）ようにデニムなんかとコーディネートしてカジュアルに着崩すのもおもしろいですよ。薄い布を触ってもらいましょうね。触ってみてね。この布はさっきの布ほど厚くないでしょう。布屋さんに行くと、この布を見たとき、ギャザーがきれいに出るな、と、想像しているんですよ。こんなもの作ったらどうかな、といろいろ考える訳ですね。</p> <p>○（フリルの付いた肩ひもを見て）そうですね、確かにとさかのようなフリルを付けると可愛い感じがプラスされますよね。</p> <p>○それとか、これ（母のドット柄）なんですけど、結構、薄いタイプよ。薄いですよ。かわいい。みんなだったらどういうデザインを作ってみますか。可愛いと思った布はデザインを考えたくないんですか。ピンクタックって知っているかな、畳んだような細いひだがあるデザインとかね、バイピングとか縁取り、この母の赤を取って縁取りをするとかね、何か面白いことができそうな気がします。（基本の）デザイン画を描くときに時間不足で描けなかったのが残念ですが、</p>	<p>○このような細いものを使います。</p> <p>（基本の肩ひもを外し、ボディの上で身頃に細い肩ひもをつけた）</p> <p>（基本ワンピースのデザイン画をホワイトボードに貼った）</p> <p>（展開分量が少ない後ろスカートの型紙を提示した）</p> <p>○（シュッと）なりましたよ。</p> <p>（肩ひもにフリルを付けた）</p> <p>（フリルワンピースのデザイン画を、ホワイトボードに貼った）</p>

<p>本当はね、この布（緑のプリント縦縞柄）をもう買っていたんですよ。夏だからサンドレスだと思いませんか。リゾートに向いているかな。トロピカルのハイビスカスとか、あんな布を探しに行ったんですよ。布ってね、本当、できた時をイメージしないと、安っぽいものになるのよ。売っている物に完全に負けちゃうんですね。これはよかったです。結構柄が大きく縞が入っています。みんなだったら、スカートの部分をタテ縞で使う、ヨコで使う。イメージがずいぶん違うんですよ。私、いつもタテかヨコかで悩む。いってみますよ。ヨコでギャザーを寄せてみて。布はかたいんですよ。可愛い可愛いイメージに仕上がってね。タテにすると結構大人っぽいんですよ。雰囲気が違うんですよ。ここ（スカート）は横にしとして、ここ（身頃）は縦にして、と、ブロいことをやってもいいですよ。いろいろ考えてみてね。それとか、グリーン（柄）の幅が広い、細いとなっているでしょ。肩ひもをグリーンだけで取って付けるとまた感じが違うんですよ。それとか、ここにベルトを挟んで作ることもできるんですよ。そこにグリーンだけを持ってきても面白いんじゃない。逆に無地のところを狙って布を使っても面白いですよ。</p>	 <p>写真4 肩紐へのフリル付け実演</p>
<p>ま と め</p> <p>○という風にファッションデザインというのは基本の形があったらはっきり言ってどんなこともできるんですよ。しかもみんなのサイズの服ができるんですよ。みんなは売っている服を買っていると思うし、私たちもそうなんだけれども、本当は服はその人をもっときれいに见せる力があるものなんですよ。たとえば、ウエストの位置をどこに持ってくるかで、これ（上半身）対これ（下半身）のバランスが全然変わってくるんですよ。それとか、ここ（胸のライン）に四角が見えていると思うけど、この面積をどう開けて見せるかで大きく違います。よく失敗しがちなのは、背の小柄な人で可愛いサイズの人は、売ってる服が大きいから、ここの明きがすごく広がるんですよ。</p> <p>そしたらね、遠くから見るときに、（頭から胸の明きまでを）区切ってみるんですよ。だったら、1頭身、2頭身、3頭身、4頭身で終わります。なるべく小柄な人の場合コンパクトにトップを小さくしておいて区切っていくと、シュッと（背が高く）見えるんですよ。胸の形をきれいに见せようと思ったらあらゆる方法があります。</p> <p>という風にデザインというのは布を見て思いついたり、形を見て布を探したり本当におもしろい世界でね、そういうことを体験すると、普通に服を見たときの見方が変わっていく。ということなんです。</p> <p>○わかっていただけましたでしょうか。ぜひ知っておいていただけるといつか案外子どもの服を作るとか、ね。以上で終わらせていただきます。</p> <p>○ありがとうございました。</p>	<p>○ありがとうございました。</p>

※話し言葉は、内容が変わらない程度に修正した。

布・切れ・布地・生地などの表現は「布」に統一。

ボディ・人台は「ボディ」に統一。

※「○」は発言の順を示し、○の位置が上位の発言を表す。

※（ ）中は行動・態度を表す。

3-2 高校生の動向

第1回目の参加者は高校3年生で、最後まで模擬授業に参加し、終了時には拍手が起り、好感触を得た。第2回では、ファッションデザイン実演開始時間までに時間が空いたこともあり、参加者が半減した。しかし、フードに興味のある高校生も含め、非常に反応がよく手応えを感じた。ファッションデザインや被服製作領域をアピールし、興味を持ってもらえたという実感があつた。

3-3 コミュニティ生活学科アンケート

第1回オープンキャンパス コミュニティ生活学科アンケートの回答内容を表3に、また第2回オープンキャンパス コミュニティ生活学科アンケートの回答内容を表4に全文を載せた。

表3および表4の文章で、コミュニティ生活学科の内容全体をさす言葉として、「勉強できる幅が広い」、「フードとファッションの両方の分野が学べる」、「楽しそう」、「先生がやさしそう」、「学生がやさしそう」という言葉が多かった。

ファッションデザインに関する言葉として、「服の作り方が身近に見れて」、「先生方の手際の良さがすごい」、

「先生たちの技術が見れてよかったです」、「とても楽しい授業内容でした。」、「メイクやファッションに興味があるので、とても楽しかったです」、など肯定的な言葉が多くあつた。

否定的な言葉としては「最初はイメージしていたものと違うなと思いましたが、」という一文があるが、この言葉に続き、「実演などを見て、興味がわきました。よい刺激をもらいました。」と続き、著者等の狙い通りのコメントとなっていた。このようなことから、ファッションデザインや型紙に興味づけができたと考える。

4. アパレル製作論について

オープンキャンパスでのファッションに興味を強く持つ高校生の反応の良さから、アパレル製作論の授業第1回において、デザイン画の提示、デザイン画からの型紙展開と布の紹介といったオープンキャンパスの内容を取り入れての授業展開の改善を試みた。

4-1 アパレル製作論

「アパレル」とは、服装、衣服を意味し、特に既製服の外装、外衣を意味する言葉として使われ、アパレルは生

表3 第1回オープンキャンパス コミュニティ生活学科アンケートの回答内容

- ・勉強できる幅が広いので楽しそうだった。先生方の雰囲気良かった。
- ・楽しそうだなと思いました。私は美容関係に興味があるので、もっと深く知りたと思いました。
- ・幅広く色々なことを学べるのでとても楽しそうだった。ずっと興味のあった大学なのでさらに入りたいと思った。
- ・前からずっと入りたいと考えていたのでAO入試を受けようと思います。
- ・すごく楽しそうだなと思いました。服の作り方や、ケーキのデコレーションが身近で見れて、先生方の手際の良さがすごいと思った。
- ・パティシエさんの技とか、先生たちの技術が見れてよかったです。ケーキおいしかったです。
- ・とても楽しい授業内容でした。
- ・先生方も話しかけやすく、先輩方もやさしそうでよかった。コミュニティ生活学科にはいろんな経験ができそうという印象でした。
- ・実際にやって見せていただいたり、試食させてもらえて、興味の持つことができました。これからのオープンキャンパスにできる限り参加したいと思います。
- ・フードもファッションも見れてよかった。前より興味がわいた。
- ・とても楽しかったです。そしてケーキがおいしかったです。
- ・進路決定の参考になりました。
- ・最初はイメージしていたものと違うなと思いました。実演などを見て、先生の印象もとてもよかったので興味がわかりました。良い刺激をもらえました。
- ・短大の意味がよくわかりました。
- ・ブライダル関係に進みたいと考えているので、この学科で両方を学びたいと思った。
- ・今日初めて文化短大に来たけれど入学してみたいと思った。専門学校みたいな所だなと思った。
- ・探していた大学が見つかった気がしました！学校の雰囲気がすごい良かった！
- ・実際にケーキのデコレーションやスクリーン映像を見てみて、とても入学したいという気持ちが深まりました。
- ・6月19日のオープンキャンパスも参加しようと思います。
- ・先生をはじめ皆さん一人一人が親切な方でとてもよかったです。初めて文短に来たけど入りたいという気持ちがより高まりました。
- ・いろんな大学に行ったけど、この学科はとても楽しめて学校生活も充実しそうだなと感じました。
- ・先生や生徒さんたちもやさしそうでとても印象がよかったです。ケーキがおいしかったです！

表4 第2回オープンキャンパス コミュニティ生活学科アンケートの回答内容

- ・教員の方や学生が明るく、楽しく体験できました。
- ・今回は前回よりも、ファッションのことが詳しくわかったので、とても興味を持ちました。
- ・自分の興味のあることがたくさんあったので、いいなと思った。
- ・メイクの仕方などみてよかったです。自分に合う色が知りたいなと思いました。ケーキもおいしくて楽しかったです。
- ・実際に見てみて、前の時よりも興味がわきました。スフレチーズケーキもおいしかったです。
- ・学生の人にあいさつをされ、とてもさわやかな印象をうけました
- ・初めにあった男性の方の明るいあいさつにとても良い印象を持ちました。学科別説明会では詳しい説明や実践などをしていただき、とても興味を持ちました。
- ・明るい先生や先輩方のいきいきしている姿を見て、より一層入学したいと思いました。
- ・私はフードに興味があって今日体験に来たのですが、ファッションのメイクや型紙（服の作り方）などを見て、そちらにも興味がわかりました！ケーキもとてもおいしかったです。7月にまたきたいなと思いました。今日は楽しかったです。ありがとうございました。
- ・メイクやファッションに興味があるので、とても楽しかったです。先生方も皆明るく優しくでした。
- ・初めてこの学校に来たのですが、雰囲気も明るくまたくわしく知りたかった。
- ・もっと入学したいという気持ちになりました。
- ・メイクの授業を受けてみて、自分に合った授業が受けれるんだなと思い、絶対入学したいと思いました。
- ・色々なことを学べるのがいいなと思いました。
- ・内容も聞いてみて、興味をもてる内容だったので、ぜひ入学したくなった。
- ・メイクをしている所を見るのがすごくおもしろかったです。
- ・いろいろな体験や見学ができ、オープンキャンパスに来てよかったです。進路はAOか推薦で迷っています。
- ・メイクの実演とかも見せてもらってとても楽しかったです。
- ・フードとテーブルの上に置く花がしたいと思いました。今、学校で花をしているので、フードに行きたいと思いました。
- ・フードとファッションの両方の分野が学べるのがとても魅力的だと思いました。

活に最も身近で身につける道具である。人間の身体と衣服との関係を知ることは大切で、身体に合った衣服をめざし、製作や生産について学ぶことを目的としている。

4-2 具体的な目標

- ① 衣服の構成がわかる。
- ② パーツから組み合わせを考え、衣服に組み立てることができる

4-3 シラバス

回	大 項 目
1	オリエンテーション
2	衣服構成について①
3	衣服構成について②（小テスト）

4	アパレルの分類について
5	アパレル商品知識について①
6	アパレル商品知識について②
7	アパレル商品知識について③
8	アパレル商品知識について④（小テスト）
9	衣服の表現について
10	衣服の立体化について
11	パターンについて①
12	パターンについて②
13	裏地と芯地について
14	衣服の生産①
15	衣服の生産②（小テスト）
16	試験（なし）

4-4 評価方法

3回の試験と、レポート、授業への取り組み状況を加味して評価する。

4-5 対象学生

対象学生は、コミュニティ生活学科1年生で、前期に受講する。

4-6 現在の第1講と問題点

アパレル製作論では、衣服の構成をほとんど知らない学生を対象にしている授業なので、専門用語の知識を身に付ける、覚えることの重要性を理解させるため、オリエンテーションにおいて衣服と被服の言葉の持つ意味の違いから、深いアパレル商品知識をもつための専門用語の大切さを知る、という内容である。具体的には、今井が製作したイブニングドレスやパーティドレスを示し、ドレスの紹介は専門用語を使うことにより、デザインのイメージなど相手との意思の疎通がはかられることを話し、専門用語の大切さを学生に伝えている。

この第1講のオリエンテーションでは、学生に対して授業の内容や進め方をアピールし、アパレル製作論の授業への興味を引き出し、受講への意欲を高めたところであるが、現在の内容では製作に興味や関心がほとんどない学生へのアピール度は低い。

4-7 第1講の修正提案

製作に関心が薄い学生の興味を引くためには、アパレル製作に関する内容の説明だけではなく、アパレル製作の前段階であるデザイン関係の内容も取り入れ、デザイン画から製作への流れや関連性を理解させる必要がある

と考えた。そこで、ファッションデザイン論の一部を加えたアパレル製作論第1講(90分)の内容を、オープンキャンパスでの模擬授業2回分の内容を加味し、次のように提案する。

- (1) 授業の具体的目的・評価方法について(30分)
- (2) ローウエストワンピースの基本シルエットの型紙とフィッティング(10分)
- (3) ローウエストワンピースの応用シルエットの型紙とフィッティング(10分)
- (4) タイトワンピースの基本シルエットの型紙とフィッティング(10分)
- (5) タイトワンピースの応用シルエットの型紙とフィッティング(10分)
- (6) 布について(10分)
- (7) まとめ(5分)
- (8) 質疑応答(5分)

5. ま と め

被服デザインや被服製作に興味を持たせる授業研究として、オープンキャンパスでの模擬授業(デモンストラーション)を試案し実施した。良好な結果が得られたため、この模擬授業内容を「アパレル製作論」の第1講の授業に取り入れる方向で検討し、その内容を提案した。

引 用 文 献

- 1) 今井裕子：アロマ授業の導入によるファッション教育の拡大、広島文化短期大学紀要、第39号、1-6(2006)
- 2) 今井裕子：ピンワーク実習の被服教育教材としての有効性—大学生を対象として—、広島文化文化学園短期大学紀要、第43号、1-13(2010)

Summary

We considered a demonstration class contents to have high school students be interested in the apparel field and performed it in the open campus.

High school students were good response to participated in our demonstration class.

And they were interested in fashion design and pattern.

We suggested that we took in the contents of demonstration class in "Apparel production theory".